

その いずみの園だより vol. 66

2016.4.25

春季号



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大きいものは愛である。コリントの信徒への手紙 I 13:13

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団
中津総合ケアセンターいずみの園

基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする
①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 (代)
http://www.izuminosono.jp E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp



住宅型有料老人ホーム シニアレジデンスいずみの森

「福祉の街・中津づくりを目指して」

2016年度の当法人全体の基本方針は「福祉の街づくりを目指して」を掲げ、いずみの園の目標は「いずみの園新5か年プラン(2012~2016)の総括と地域づくりへの参画」としました。社会福祉法人の在り方が問われる中で4年前、地域と共に歩み、地域に貢献するいずみの園を目指して新5か年プランを策定しました。その柱は、①中津総合ケアセンターいずみの園構想 ②障がい事業の開発 ③共生型かきざサポートセンター事業の推進 ④新規事業の開発 ⑤事業团组织・機構改革 ⑥サービスの質の確保 ⑦職員のワークライフバランスの推進が目標です。

2013年、名称を「介護保険総合ケアセンター」から「中津総合ケアセンター」に変え、障がい者のための就労継続支援事業所「ワークセンターシヤローム」を開設しました。2015年には、浜瀬に「福祉の里センターサマリア館」が完成、高齢者や障がい者のデイサービスのほかに、お母さんと子ども達が集う「地域子育て支援センター」、障がいのある子どもさんが通う「児童発達支援・放課後等デイサービス」、町内の人たちが相談事やお祭りの打ち合わせなどに使えるカフェや会議室もあります。これが共生型サポートセンター「サマリア館」です。

昨年4月には失業者、ホームレス、一人親家庭、生活困窮者などの相談に対応する地域公益課を新設し専従の相談員(CSW)が支援活動を開始しました。高齢者福祉、障がい者福祉、子どもたちやお母さんのための福祉、地域のいろんな困りごとと総合的に展開しようというのが中津総合ケアセンターいずみの園構想です。3月はいずみの園全体で1か月、1,598人の方にサービスを提供しました。行政や福祉施設、商工会議所、病院、学校、社協、農業関係すべての人たちと連携協力して本当に住みやすい、福祉の街・中津づくりを目指したいと願っています。



社会福祉法人九州キリスト教
社会福祉事業団 理事長
中津総合ケアセンター
いずみの園 総合施設長

富永健司

2016年度 いずみの園事業計画

1. 基本方針『新5か年プランの総括と地域づくりへの参画』

2012(平成24)年、国の第5期介護保険事業計画(～2014)施行時に「いずみの園新5か年プラン」を策定し、国の地域包括ケアシステムの推進を図るため定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業(24時間ヘルパーサービス)をスタートさせました。2013年には名称を「中津総合ケアセンターいずみの園」に変更し、障がい者就労継続支援事業(A・B型)を開始、福祉の総合化を図りました。

第6期(2015～17)介護保険事業計画時には、2015年に中津市蛸瀬にサマリア館が完成、高齢者・障がい者デイに加え児童発達支援・放課後等デイサービス事業、地域子育て支援センター事業がスタートしました。ここには地域住民の交流スペースもあり多世代・共生型地域交流センターになっています。同年4月、地域公益課を新設し制度の谷間にあると言われる生活困窮者、一人親家庭支援も開始しました。

同年9月、厚生労働省は次代の社会保障制度を目指して「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を発表しました。このプランはいずみの園の新5か年プランと同一路線にあり、最終年度新5か年プランの総括を図りつつ、厚生労働省の新ビジョンを推し進めます。また、中津市は介護予防、地域支援事業を本格化させ総合事業を推進、お元気高齢者の地域参加、生きがいづくりを始めます。

2年後の2018年は介護保険制度第7期となり、介護保険と医療保険の(報酬等)同時改定、社会福祉法人制度の改革など社会保障制度の大きな変革期となります。またこの年、いずみの園は創設40周年を迎えます。2000年に制定されたいずみの園の第3コンセプト「ローカリティ」の地域密着を推進し、地域参画、福祉の地域づくりを図ります。

2. 重点目標

①いずみの園新5か年プランの総括

- ・中津総合ケアセンターいずみの園構想の推進
- ・地域包括ケアシステムの推進
- ・中津市総合事業、地域支援事業の推進「元気・要支援老人対策」
- ・認知症施策推進事業
- ・地域公益課事業「おおいたくらしサポート事業」の推進



オレンジカフェの様子

②共生サービス事業の推進

- ・就労継続支援事業の拡充
- ・生活介護事業、グループホーム事業の推進
- ・サマリア館事業の推進

③厚労省「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」の研究

- ・新しい地域包括支援体制
- ・高齢・障がい・児童への総合的支援
- ・事業の効率性、生産性

④経営基盤の確立—社会保障費削減時代へ

- ・経営の近代化・合理化
生産性、効率性、先駆性(企業経営に負けない)
- ・各事業部の経営分析と見直し
- ・経費節減、費用対効果、適正利益の確保
- ・法人本部機能、経営企画室の役割

⑤人材確保・育成対策の継続

- ・W・L・Bの推進
- ・人材確保関連具体化検討チーム活動の継続
介護・福祉講座(小中高)、体験実習、貸付金制度、潜在(離職)介護人材対策、再就職準備金制度
- ・高校新卒職員育成プログラム
- ・韓国大卒人材の導入
- ・中間管理職講座の継続
- ・メンタルヘルス計画の推進、安全衛生委員会の活性化



介護職員初任者研修の様子

⑥地域参画、地域との連携の推進—福祉の街づくり

- ・雇用創出と地域貢献
- ・生産性のある事業と地方創生「いずみの園ブランド」社会貢献、魅力ある職場、Uターン
- ・「2毛作会」の育成、団塊の世代、社会貢献、総合事業との連携
- ・行政との連携の強化
- ・経済(商工会議所、青年会議所、中小企業家同友会、法人会)教育(大学、専門学校、高校、支援学校、PTA)
- ・医療、社協、政治、警察、消防、農業、文化との連携



ボランティアグループ2毛作会外出行事の様子

2015年度第4回理事会・第4回評議員会が3月26日に開催されました。

3月26日(土) 14:00から、2015年度最後の理事会・評議員会が当園いずみ館において開催されました。

開会に当たり、電永理事長から、「社会福祉法人の存在価値が問われる中、地域包括ケアシステム

の推進と高齢・障がい・児童の総合福祉ビジョンのもと、地域の中にあつての福祉の街づくりを目指していきたい」との挨拶がありました。

続いて、審議議案として、第2次補正予算案人事案件、新事業計画案の議決を受け、2016年度事業計画・当初予算・規則・規程の改定が承認されました。

また、報告事項として、①昨年11月の塩崎厚生労働大臣視察、②改正社会福祉法案の概要、③女性活躍推進法に基づく法人計画概要、④行政監査報告、⑤人材確保・育成・定着への取組状況、⑥行政監査、⑦各事業の評価・苦情処理体制、⑧ユニットケア指定更新などにつき質疑の後、全て了承されました。

2016年度は『いずみの園新5か年プラン』の最終年度として、さらに2018年にむけての創設40周年の準備として、今承認された事業計画等を誠実かつ果敢に推進してまいります。

(法人本部事務局)



韓国の大学生が「いずみの園」へ実習に来られました。

2月1日(月)より3日間、韓国の「スンシルサイバー大学」から学生9名と教授、合わせて10名の方が、日本の福祉を学ぶために、「いずみの園」へ実習に来られました。

初日は当園の紹介DVDを見ていただきながら、理事長より「いずみの園」の説明を行い、その後「スンシルサイバー大学」の趙(チヨ)教授より日本の介護保険の勉強会があり、午後より法人内の各事業所を見学しました。

2日目は2グループに分かれて、特養とデイサービスにてそれぞれ実習を行いました。

3日目の午前中は前日同様、実習を行い、午後は中津周辺の観光にご案内しました。学生の皆さんは、それぞれ言葉や文化の壁に苦労されている様子でしたが、積極的に質問し、日本の福祉を勉強されていました。

韓国の学生の皆様、実習お疲れ様でした。
(総務部)



玄関にて記念撮影



見学の様子

「第21回ボランティア交流会」が行われました。

3月4日(金)11:00より、いずみの園「地域交流館」で、「第21回ボランティア交流会」が行われました。

この会は、「いずみの園」にボランティアとして携わって頂いている方々と職員との交流を図るために毎年行われていた会ですが、今年度は61名のボランティアの方々が参加されました。

まず当法人常務理事長の挨拶のあと、『生涯現役のすすめ〜高齢者の元気を地域活動に〜』と題して、中津市社会教育課生涯学習推進室室長 山本健吾氏による講演があり、アクティビティ、生涯現役のススメ4カ条 などについて、とても分かりやすく説明いただきました。

その後、「2毛作会」の設立報告の後、全員で会食を行い、終始なごやかな笑い声と共に、交流を深めました。ボランティアの皆さん、今後ともよろしく願います。
(人材育成・研修センター)



会食の様子



講演される山本氏

女性活躍推進法に基づく 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団の 法人計画の概要(2016年4月1日〜)

- 目標① 理事、監事、評議員に占める女性割合を30%を目標とする。
- 目標② 管理職に占める女性割合を30%を目標とする。
- 目標③ 育児休業、短時間勤務の利用を公平に評価し取得を10%を目標とする。

組織の変更

- 1 組織
- 4月1日付
- ①中津総合ケアセンターいずみの園を統括するものとして、総合施設長を置く。
 - ②新任の特別養護老人ホームいずみの園施設長を置き、特養事業部を統括する。
 - ③在宅サービス事業部の下に地域支援センターを設置し、介護保険サービスセンター、中津市地域包括支援センター、地域公益課を管理する。

人事異動

2015年11月25日以降

- 1 異動役職者
- 4月1日付
- | | | |
|--------|-----------------|-----------------------|
| 富永 健司 | 中津総合ケアセンターいずみの園 | 総合施設長 |
| 市川 朋克 | 特養事業部 | 部長・特別養護老人ホームいずみの園 施設長 |
| 谷口 弘美 | 在宅サービス事業部 | 部長 |
| 森 光徳 | ケアハウス事業部 | 部長・聖愛ホーム ホーム長 |
| 枅 真司 | 特養事業部 | 次長 |
| 尾崎 正史 | ケアハウス事業部 | 次長 |
| 伊藤 保幸 | 在宅サービス事業部 | 次長・地域支援センター長 |
| 岩崎伸一朗 | リハビリセンターいずみ | 課長 |
| 高倉 哲也 | リハビリ課 | 課長 |
| 橋本 由美 | 訪問介護課 | 課長 |
| 田中 伸治 | 相談課 | 課長 |
| 大島 伸城 | 介護保険サービスセンター | 課長 |
| 橋田 要介 | 聖愛ホーム | 課長 |
| 今長 澄江 | 寄り合いセンターいずみ | 主任 |
| 瀧澤由美恵 | 介護保険サービスセンター | 主任 |
| 中村 寿孝 | かきぜグループホーム | 主任 |
| 橋本 晃一 | かきぜグループホーム | 主任 |
| 中島 喬生 | 訪問介護課 | 主任 |
| 西 晃平 | 相談支援課 | 主任 |
| 4月11日付 | 相良 保子 | いずみの森 主任 |

2 異動一般職

- 4月1日付
- | | | |
|-------|------------|-------|
| 工藤 一憲 | 総務課 | 事務員 |
| 松本 翔多 | 相談課 | 生活相談員 |
| 松山 祥子 | 総務課 | 事務員 |
| 中村 純子 | 中央サポートセンター | 看護師 |
| 米光 宏恵 | ふれあい館 | 看護師 |
| 高藤 直樹 | 介護課 | 介護員 |
| 望月 有里 | 相談課 | 事務員 |
| 稲田 汐里 | ふれんど館 | 介護員 |

3 新採用

- 12月21日付
- | | | | |
|--------|--------|---------------|---------|
| 峯 恵子 | ふれあい館 | 介護員 | |
| 1月4日付 | 秦 美帆 | ふれんど館 | 看護師 |
| 2月1日付 | 原田日登美 | 介護課 | 介護員 |
| | 四辻 克子 | 児童サービス課 | 児童指導員 |
| 3月1日付 | 小野 浩 | ペテルハウス | 介護員 |
| 3月15日付 | 末廣 真希 | 聖愛ホーム | 調理員 |
| 4月1日付 | 惣路あずみ | 介護課 | 介護員 |
| | 阿南 聡馬 | 介護課 | 介護員 |
| | 飯田有梨子 | 介護課 | 介護員 |
| | 賀末 舞奈 | 介護課 | 介護員 |
| | 宮本 侑奈 | 介護課 | 介護員 |
| | 櫻本 雄大 | 介護課 | 介護員 |
| | 小久保 悠也 | かきぜグループホーム | 介護員 |
| | 馬場 末子 | 中津市地域包括支援センター | 訪問調査員 |
| | 服部 保雄 | 就労支援事業課 | 職業指導員 |
| | 白見 英猛 | 就労支援事業課 | 職業指導員 |
| | 後藤あゆみ | 訪問看護課 | 看護師 |
| | 白津 恵子 | ふれあい館 | 介護員 |
| 4月18日付 | 工家 寿子 | 介護保険サービスセンター | 介護支援専門員 |

(以上2016年4月18日まで)

ひろ ば いずみの園広場

ご利用者ご家族の声



ワークセンターシャローム
(多機能型・就労継続支援事業)

中畑寿美様のご家族 中畑 初美様

「今日も頑張るよ」シャロームにお世話になって3年目の春を迎えています。毎日嬉しそうに通っている姿に夫婦共々喜んでいきます。朝はお弁当を詰めるのに忙しい時間です。お弁当箱選びから始まりデザートまで「今何時？」母の声もなんのその、その出来映えに写メまで撮っています。ランチタイムが目につかぶようです。余暇の時間にはシャロームで収穫した野菜など大好きな絵を書かせていただいているのが仕事を頑張れる一つになっているように思います。県のスポーツ大会では銀メダルをもらい家族一同ビックリしました。皆さんの「すごいねえ」の声に鼻が高くなっています。(笑)

小・中・高といろいろな事がありました。その時その時の出会い、そして娘の個性を認めてくれたお友だちの存在は私たちの宝物になっています。先日は成人式に出席しました。周りの方々にお祝いをしていただき、沢山の言葉もいただきました。小学校の恩師も遠方から会いに来てくれたりと感動の一日でした。シャロームの職員の方々にも、とっても優しく接していただき

感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。何もかも手離して毎日送り出している母です。困らせる事もまだまだ沢山あると思いますが、これからもどうぞよろしく願います。



中央：成人式の寿美さん

ご利用者ご家族の声



特養ヨハネ館

岡 モモ子様のご家族 岡 裕子様

突然の脳梗塞の発症から湯布院での4ヶ月間のリハビリを経て、母が「いずみの園ヨハネ館」に入所して2年が経ちました。発病からリハビリの期間は重症でしたので「ヨハネ館」での個室の生活に耐えられるかと、当初はとても心配しました。ですが、取り越し苦労でした。「ヨハネ館」での生活が始まると、介護のプロの皆様にも囲まれ、母は顔がみるみる穏やかになり「いずみの園いいねえ」とたどたどしく話す様になりました。

毎週末、北九州から来る弟も、母がここまで変わるとは思わなかった...と言います。

なによりも「いずみの園」へ入る事は脳梗塞に倒れてから母自身が望んだこと。その望みが叶って2月に無事90歳を迎えた母、勿論、加齢による衰えは否めませんが、「目標は百歳！」と言って頑張っている母から私は、勇気と元気をもらっています。

そんな母を日々支えて頂いているスタッフの皆様には「感謝」という言葉しかありません。今後共「いずみの園」の御発展とスタッフの皆様の御健康をお祈りしています。



特養にてお母様と姉弟で

デイサービスセンターかきぜ

かきぜサポートセンター デイサービス課 課長 河野 和樹

「デイサービスセンターかきぜ」は、今年で14年目を迎えます。昨年の4月に新築された「福祉の里センターサマリア館」に移転して引き続き事業を行っています。

事業内容は、高齢者のデイサービス事業と、障がい者への基準該当生活介護サービスを提供しています。新設のリハビリ機器を導入しており、身体状況に応じたりハビリを提供、ゆっくりとろける空間もあり、重度な方への対応も可能となっています。また「サマリア館」では、地域住民のみなさんが主体となつて運動教室を週1回行っており、介護予防を目的に体操に取り組まれています。ご利用者の中には、地元住民のみなさんの姿を見ながら体操に取り組まれる方もいます。

「サマリア館」は他に子育て中の親子、子ども、障がい児への事業も行っており、多くの世代と交流を図ることが出来るのも特徴の一つです。

定員は25名で、見学や体験利用など随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。職員一同心よりお待ちしております。



児童発達支援・放課後等デイサービス事業所マルコ

かきぜサポートセンター 児童サービス課 課長 今永 弘枝

「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所マルコ」は、障がい児の通所事業で、定員は児童発達支援と放課後等デイサービス合わせて1日10名です。2015年4月に蛸瀬地区に新設された「福祉の里センター サマリア館」の中にあり、開設から1年を迎えました。

児童発達支援は未就学児が対象で、サービス提供時間は9時～13時までです。日常生活の基本的習慣を身につけ、集団生活の参加を助長できるように支援しています。

放課後等デイサービスは小学1年生～高校3年生までが対象で、サービス提供時間は平日は放課後～17時まで。長期休暇中は9時～17時までです。生活能力の向上、地域社会への参加ができるように支援しています。

保護者との信頼関係の構築に努め、子育ての悩みや問題を一緒に考え支援していただけるようにと考えています。



新シリーズ 園内の広報誌

広報誌①

特養事業部新聞「Hidamari (陽だまり)」

特養事業部では、「特別養護老人ホームいずみの園」に入居されているご利用者のご家族や、今後施設の利用を考えている方へ、特養事業部新聞「Hidamari」を、毎年1回発行しています。

ご利用者の方の過ごされている様子や、各種の行事、職員の紹介などを写真入りで紹介しています。(特養事業部)

Hidamari (いずみの園)

2015年10月24日発行

INTRODUCTION (総論)

本報は特別養護老人ホームいずみの園に在住する利用者様とご家族の皆様へ、毎週1回発行する特養事業部新聞「Hidamari」です。本報は「いずみの園」で生活されている利用者様とご家族の皆様へ、毎週1回発行する特養事業部新聞「Hidamari」です。本報は「いずみの園」で生活されている利用者様とご家族の皆様へ、毎週1回発行する特養事業部新聞「Hidamari」です。

住費の目安 (多人数室)

1室	¥5,940	⇒	¥5,470/月
2室	¥6,610	⇒	¥6,140/月
3室	¥7,280	⇒	¥6,810/月
4室	¥7,950	⇒	¥7,480/月
5室	¥8,620	⇒	¥8,150/月

住費の目安 (単独室)

1室	¥3,000	⇒	¥3,000/月
2室	¥3,700	⇒	¥3,700/月
3室	¥4,400	⇒	¥4,400/月

住費の目安 (介護付)

1室	¥4,730	⇒	¥4,380/月
2室	¥5,400	⇒	¥5,050/月
3室	¥6,070	⇒	¥5,720/月
4室	¥6,740	⇒	¥6,390/月
5室	¥7,410	⇒	¥7,060/月

住費の目安 (介護付)

1室	¥5,100	⇒	¥4,750/月
2室	¥5,770	⇒	¥5,420/月
3室	¥6,440	⇒	¥6,090/月
4室	¥7,110	⇒	¥6,760/月
5室	¥7,780	⇒	¥7,430/月

住費の目安 (介護付)

1室	¥8,100	⇒	¥7,750/月
2室	¥8,770	⇒	¥8,420/月
3室	¥9,440	⇒	¥9,090/月

Hidamari 第3号

広報誌②

デイサービスセンターふれあい館「ふれあい通信」

「デイサービスセンターふれあい館」では、ご利用者の家族の方向けに「ふれあい通信」を発行しています。

「認知症プチ知識」として認知症についての説明や、「ふれあい館」での活動・行事の様子、お知らせなどを掲載しています。(デイサービスセンターふれあい館)

いずみの園 デイサービスセンター

ふれあい通信

平成23年2月1日発行 (2015年度 Vol.3)

いずみの園基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする。

1. アメンティ (Amenity) 快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービスを提供します。
2. ヒューマニティ (Humanity) 心と体の自由を尊重し、一人ひとりの個性を大切にサービスを提供を行います。
3. ローカルティ (Locality) 。

Since 1978

認知症プチ知識

認知症は大きく分けて、①「神経変性疾患性認知症」②「脳血管性認知症」③「その他の原因による認知症」に分けられます。

今回は①「神経変性疾患性認知症」についてご紹介いたします。

①「神経変性疾患性認知症」は3種類あります！

- アルツハイマー型認知症 → 認知症の中で最も多く、約半数を占めると言われています。物忘れから発症して、短期間で、精神症状などが徐々に進行し、重症化することが多いですが、薬などで進行を遅らせることは可能です。
- レビー小体型認知症 → 脳の中に特殊なたんぱく質が蓄積する病気、あるいは別の病気が原因と見られる認知症です。
- 前頭側頭型認知症 → 脳の中でも前のほうの部分が変性して萎縮することにより起こる認知症です。

※もし、心配なことや気になることがございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

脳変性疾患性認知症は、人格変化や行動異常、言語障害などが起こる病状があります。人が変わった様に、無頓着でらしくなったり、尋常的な行動を繰り返したりすることがあります。

ふれあい通信 第3号

『これからの特別養護老人ホーム等における看護指導者養成研修』に参加して



特養事業部 看護課
課長 中島三佐江

近年高齢化の進展や医療依存度の高い高齢者の増加、認知症高齢者の増加により高齢者権利擁護の取組みの推進が課題となっています。本研修は厚生労働省の高齢者権利擁護推進事業における看護指導者養成研修で、2005年から実施されています。

2015年度、大分県福祉保健部において選定された看護師は私を含め4名で、東京都にある「日本看護協会看護研修学校」で12月2日～4日の3日間行われた研修を受けさせていただきました。

内容は、介護保険制度・地域包括ケアシステムにおける特養の役割・尊厳ある生活を支えるケアと看護の実際・地域ネットワーク構築と人材育成等でした。

また、この研修受講者は各都道府県で実施されている看護実務者研修の企画立案への参画及び講師等となり、その必要な研修プログラムの作成方法や教育技術を修得するためのグループワークも行うなど、非常に自身の濃い研修会でした。

今回、様々な講義を受け各講師の方々の見解をうかがう中で、地域で暮らしを支える看護への期待は今後も更に高まるのではないかと感じました。

多様で複雑な疾病を有する高齢者の生命と尊厳を守るためには、施設看護の成長と充実が必要不可欠であると思います。そのため、この研修での学びを生かしていきたいと思っています。



大分県高齢者福祉施設等実践研究大会

特養事業部 介護課 主任 重成 智子

2015年11月30日に行われました、大分県高齢者福祉施設等実践研究大会にて、『エンドノート～あなたの命の物語』と題して、看取りケアについて発表し、優秀賞を受賞することができました。



今回発表を行い、看取りケアについて大切なのは「最期の瞬間」だけではなく、ここまでどうして生きてきたかということ。そして、そのことが人生の最終章で実を結ぶのだと改めて強く感じました。

これからも、最期までその人らしく過ごせるように見守らせて頂きたいと思っています。

今回発表するにあたり、ご協力くださいましたご利用者の方、ご家族の皆様にご感謝申し上げます。

あなたのまわりで『生活に困りごとを抱えている人』はいませんか？

在宅サービス事業部 地域公益課
コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 八田 淳子

おおいたぐらしサポート、事業のご案内
いずみの園を始め、県内有志の社会福祉法人では、失業・虐待・DV・けがや病気が原因で生活に困っている方々に寄り添い、訪問と相談を通じて制度になく、『社会貢献活動（おおいたぐらしサポート事業）』を実施しています。総合相談の上、緊急を要する場合は食材の提供など、経済的援助（現物給付）も行っています。



おおいたぐらしサポート「事業（生計困難者に対する相談支援事業）」はどなたでも相談でき、相談料はかかりません。

私たち社会福祉法人は地域住民の皆様とともに、豊かな地域社会づくりをめざします。

お問合せは ☎Tel 0979-641-9063

「人材確保関連 具体化検討チーム」

「中津総合ケアセンターいずみの園」では「人材確保」を法人としての大きな課題とし、2015年1月より、3班からなる「人材確保関連具体化検討チーム」を発足させ、討議を重ねてきました。そして2016年3月に、この1年間のまとめとして3班合同の報告会をもちました。

第1班（人材確保行動班）

昨年度の活動の結果、6名の新入職員を迎えることができました。実際に就業案内の訪問を実施した31の学校の中からの応募もあり、具体的な成果を挙げる事ができました。

第2班（人材育成計画策定班）

入職1年目職員への「新人職員育成プログラム（エルダー制）」の実施状況及び評価基準表の作成についての報告を行い、次年度の「入職2年目職員への実施並びにチェック体制」について報告を行いました。「職員への周知不足」などが、反省点として挙げられました。

第3班（職員待遇環境等検討班）

ここまでの「職員の専門性に着目した手当の新設」に関する概要提案と、「ワーク・ライフ・バランス」等の検討事項についての確認を行いました。今後とも「やりがいある元気な職場づくり」と、より良い職場環境を充実していくことが了解されました。

以上、2016年度も引き続き活動を継続していきたいと考えています。（経営企画室）



報告会の様子

園内の花木を探索

「いずみの園」の敷地内にはたくさんの花木が植樹されています。この花木をシリーズで紹介します。

● レンギョウ (連翹)

レンギョウはモクセイ科の落葉性低木広葉樹です。よく公園などの植え込みとして目にする機会が多いレンギョウですが、ちょうど3月の終わりから4月にかけて開花時期を迎えます。

その花びらは、一つひとつは小さいですが、時期を迎えると一斉に咲き、辺り一面を真っ黄色に染め上げます。その可憐な花は丈夫で繁殖力も強いとのことで、園芸用の花木として用いられることも多いそうです。

レンギョウの花言葉は「希望の実現」。この季節の代表的な花木といえば「桜」ですが、たまには目線を下げ、「希望の花」を眺めながら春の訪れを楽しむのもまた一興かもしれません。



「ここにキリスト教なる登り口がある。千九百年の間おおくの人に踏みならされた、平坦な、決して迷うことのない、しかも一番の近道がある。これはいかなる足弱も、心臓の弱い者も、老人も、少女も、いな、弱い者であればあるだけ、やすやすと登ることができない。ところが不思議にも人はなかなかこの道を選ばない。なぜであるか。この登山口では、最初に謙遜の谷を通らねばならないからである。自分の足と心臓の強さに対する自信と、誇とをなげうたねばならないからである。」

「キリスト教十講 昭和35年版」より

聖書のことば・人の言葉



堤 健生

今回は塚本虎二先生の言葉です。

ワークセンターシャロームで「A型・B型の利用者総会」を行いました。

4年目を迎えたシャロームは、開設以来毎年、年度末に「利用者総会」を開催しています。今年の利用者総会は、3月24日(木)・25日(金)に、シャロームにて開催し、収支報告及び、平均賃金・工賃について利用者へ報告しました。2016年度は、就労継続支援としてA型11名、B型13名の合計24名です。



利用者総会の様子

A型は、施設8か所、外部施設3か所の合計11か所のメンテナンス(清掃)を実施し、B型は、施設の衣類洗濯業務と農作業等を実施しました。B型は米づくりの一年目で3000kgを完売しました。今後は、施設メンテナンス以外の作業開拓にもチャレンジしていきます。シャロームの運営方針の一つである「夢や向上心に応えられる仕事」をつかっていきたいと思っています。

(ワークセンターシャローム)

犀川のぞみ保育園でブラッシング指導を行いました。



特養事業部 リハビリ課 歯科衛生士 東 久美

当法人は「いずみの園」の他に3つの保育園を運営していますが、今年2月26日にその中の一つである「犀川のぞみ保育園(福岡県京都郡みやこ町犀川本庄)」に出向き、2歳児クラス7名を対象に、ブラッシング(歯磨き)指導を行いました。



ブラッシング指導の様子

園児も最初は緊張もみられていましたが、徐々に笑顔もみられ質問にも大きな声で答えてくれました。約1時間でしたが、園児は椅子から立つこともなく、熱心に話を傾けてくれ、大きく口を開けて口の中を見せてくれたり、上手に歯磨きを行ってくれました。

最後にお約束事として「食べたら歯磨きできる人!」と声掛けすると、右手を高く挙げ「はい!」と元気な声で答えてくれました。この子供達が生涯自分の歯で食事ができ、健康な生活を送れるようにと願っています。

編/集/後/記

「花の色はうつりにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに」とは、平安時代の歌人、小野小町の歌である。「春の長雨に降られ、色褪せてしまった桜の花びらのように、(あなたを想った長い年月を経て)私もすっかり色褪せてしまった」という、想いが届かない、春の終わりの切ない恋心を歌った句だ。

我が園では、毎年この季節は、新しい場所や新しい仲間、新たな同僚との出会い、誰もが慌ただしく往來する様子は、さしずめ春の嵐といったところか。そんな中、今年6名の新人職員がいずみの園に入職してくれた。徐々に「うつりにけり」な私に比べ、彼らの桜は満開に見える。いつまでもその気持が色褪せることなく、日々の業務に励んでいただきたいものである。

(末)

<「市報なかつ」2015年12月15日号> 掲載

本年中は大変お世話になりました。
来年もどうぞよろしくお願いたします。

中津総合ケアセンター いずみの園
1871-0162 中津市大字2744番地 TEL 0979-23-1616

<「市報なかつ」2016年4月1日号> 掲載

社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 中津市大字2744番地 TEL 23-1616

アメニティ・ヒューマニティ・ローカリティ

<p>高齢者関係</p> <p>特別養老ホーム「いずみの園」コールセンター(24時間サービス)受付け、福祉サービスセンター、グループホーム、いずみの園介護福祉センター、中津市地域福祉支援センター、いずみの園</p>	<p>障がい者関係</p> <p>特別養護老人ホーム(A型、B型) 事業所シャローム 中津市産業支援センター 中津市障害者就業支援センター</p>	<p>子育て関係</p> <p>かきざせサポートセンター 中津市飯塚643 TEL 23-2668</p>
---	---	---

グレース保育園 中津市大塚199 TEL 23-2668

中津市地域子育て支援センター・ボール 飯塚児童クラブ・ピーター・ボール

いずみの園では、毎月1日号(12月は15日号)「市報なかつ」に、当法人のスペースを確保し、市民の皆様へ当法人の情報をお知らせしています。

「市報なかつ」に情報を掲載しています。

中間管理職講座2015の 第3回・第4回の研修を行いました

「いずみの園」では2012年に策定した『いずみの園新5か年プラン』に「中間管理職の育成」を挙げ、2013年度より「中間管理職講座」を行っています。

この講座の2015年度の第3回目、第4回目をそれぞれ行いました。

第3回は、2月24日（水）14:00より

課長篇・主任篇合同で、大阪市にある「リフェイス」代表の中村佳織氏（中小企業診断士）をお招きし、『行動観察』から考える利用者者の満足度向上』と題して、対象の47名の職員が参加して行われました。



第4回講座の様子

第4回は、3月17日（木）16:00より、課長篇として中津市内にある「清源法律事務所」副所長の清源万里子弁護士（当法人評議員）をお招きし、「おっと危ない業務管理の落とし穴」と題して、対象の27名の職員が参加して行われました。

中村先生、清源先生、お忙しい中ご講義いただき、ありがとうございます。（経営企画室）



第3回講座の様子

2015年度いずみの園 職員全体会議が行われました。

3月30日（水）地域交流ホーム「いずみ館」において、全職員を対象とした「いずみの園職員全体会議」が開催され、206名（対象346名）の職員が参加しました。

冒頭に、富永理事長より2016年度の法人本部事業計画、並びにいずみの園事業計画・基本方針が示され、「この1年間、皆さん本当によく頑張ってくださいました。今年度は全国的にもまだあまりない、共生事業の「福祉の里センターサマリア館」を4月にスタートしました。これからは、「地域の福祉作り」を行っていききたい。いずみの園は2018年に40周年を迎えます。地域に感謝して40周年を迎えたい。2016年も皆さん頑張りました。」とのことでした。



職員全体会議の様子

その後、各部長・センター長よりそれぞれの部・センターの事業計画の発表があり、組織の変更、人事異動・昇格の発表、最後に新入職員の紹介がありました。全体会議終了となりました。



事業計画を発表される富永理事長

また例年通り、職員全体会議の後に「職員親睦団体いずみ会」の総会が行われました。2015年度の事業報告と決算報告、及び2016年度の新役員の紹介があり、次年度の福利厚生計画が、全員の拍手で承認されました。（総務部）

2016年辞令交付式、 新入職員入職式が行われました。

4月1日付で昇任・昇格となった職員の辞令交付式と、新卒採用された6名の職員の入職式が4月1日（金）8時30分より、地域交流ホーム「いずみ館」にて行われました。

富永理事長より各自に辞令が渡され、「これからいずみの園がより良くなっていくために、皆さんの力がなにより重要となります。一緒に頑張ってくださいませ。」との挨拶がありました。次に法人本部事務局長より、「新入職員の皆さんは当法人の職員として歓迎します。また、新しく管理職になられた方は責任は重くなるが、やりがいをもって頑張ってください。」との挨拶の後、最後にチャブレンのお祈りをもって式を終りました。（経営企画室）



富永理事長と新卒採用職員

受講生 募集中

介護職員実務者研修

通信課程（通信教育＋レポート提出）

介護福祉士国家試験受験に必須の研修です。

- 実施期間：6月期 6月1日～5ヵ月間
8月期 8月2日～4ヵ月間

- 募集定員：各40名

- 受講費用：取得資格状況により受講費用が異なります。

- スクーリング会場：いずみの園内 地域交流ホームいずみ館

教育訓練給付制度の対象講座です。

喀痰吸引等研修短期コース

介護職員が喀痰吸引等を行うための研修です。

- 実施期間：5月10日～6月15日

- 募集定員：30名

- 受講費用：60,000円（他テキスト代等）

- 研修会場：いずみの園内 地域交流ホームいずみ館

- 医療的ケア教員講習会：5月30日

キャリア形成促進助成金の対象講座です。

お申込みお問い合わせは 人材育成・研修センター 担当：岩崎・安藤まで